【総括表】

用途	ごみ処理施設

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	豊田市清掃事業所	渡刈町	大規模修繕	
2	勘八不燃物処分場	勘八町	現状維持	
3	渡刈クリーンセンター	渡刈町	大規模改修	
4	緑のリサイクルセンター	枝下町	大規模改修	
5	藤岡プラント	下川口町	現状維持	
6	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製容器包装資源化施設	渡刈町	現状維持	
7	砂川衛生プラント	みよし市三好丘	現状維持	
8	グリーン・クリーンふじの丘	藤岡飯野町	現状維持	
9	ごみ収集車車庫	渡刈町	現状維持	
10	逢妻衛生プラント	前林町	現状維持	

2　計画期間

2018 年度から 30 年間とする。

※上記、「基本的な方針」は 2021 年度から 2026 年度までの 6 年間の内容

3　目標使用年数

施設の劣化状況や、廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き（ごみ焼却施設編・し尿処理施設・汚泥再生処理センター編）（平成 27 年 3 月改訂）に示されている施設の耐用年数、財政状況、社会情勢等を踏まえた上で、施設ごとに検討する。

4　対策の優先順位の考え方

ごみの減量の推進、公共下水道の普及や人口減少・少子高齢化社会により、ごみの排出量やし尿・浄化槽汚泥収集量の減少が予測される中、中長期的な視野に立った清掃施設（ごみ処理施設）の整備、長寿命化や統廃合を実施していく。

なお、施設更新時には費用の平準化を図るために、最適な更新手段を検討する。

また、定期的に機能検査を実施し、その結果等に基づく修繕等を計画的に行うことで施設の能力を維持する。

【個別表】

1	施設名	豊田市清掃事業所

1　施設の概要

所在地	渡刈町	延床面積	3,584.73 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
事務所	RC 造	1987	940.27	3 階	
清掃事務所	RC 造	1998	1,788.05	3 階	
不法投棄分別施設	S 造	2007	124.00	1 階	
空き缶選別処理施設	S 造	2007	180.00	1 階	
2012 倉庫	S 造	2013	199.38	1 階	
ストックヤード棟	S 造	2013	67.92	1 階	
自転車置場	S 造	2013	84.74	1 階	
2013 倉庫	S 造	2014	200.37	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設の主たる棟である事務所及び清掃事務所は、一部の棟で築後３３年が経過しており老朽化が激しい。２０１９年度に屋上防水（事務所）及び外壁（事務所及び清掃事務所）の延命化修繕工事が行われたが、修繕工事を行っていない空調、電気、給排水、内装、衛生、消防設備等が劣化している。２０２１～２０２２年度で大規模改修が予定されており、特に劣化の激しい空調、衛生設備、２０１９年度未実施の屋上防水等の改修を行う。 その他の棟はほぼ健全な状態を保っている。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①利用者の安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る ③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
慢性的に打合せスペースが不足しているため、大規模改修時に未利用スペースの用途変更により利用促進を図る。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
大規模改修により高効率な空調への更新や床の仕上げの変更を行い、ランニングコストの縮減を図る。 また、将来的には LED 照明に更新を行い、さらなる省エネを図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項
事務所及び清掃事務所は、旧渡刈清掃工場の管理棟（事務所）に増築をして構成されており、施設所管課が複数回変更されているため関係図面が散逸している。さらに旧渡刈清掃工場解体時に管理棟の図面も廃棄している可能性があり、図面等がほとんど見当たらないため、修繕及び機能向上工事施工に支障をきたすことが多い。 また、建築年次が古いため、バリアフリー化、機能向上にも制約が多く、可能な範囲での対応とせざるを得ない。

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	勘八不燃物処分場

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	勘八町	延床面積	1,147.61 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
汚水処理施設	RC 造	1992	1,129.97	2 階	
脱水汚泥ホッパー棟	S 造	2005	17.64	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築後２９年が経過しており、老朽化が激しい。壁面等のコンクリートに爆裂が見られ、電気室等で雨漏りが発生している。 当施設の廃棄物処理法上の廃止時期が未定であり、当面汚水処理を継続する必要性がある。 ２０２１年度に屋根防水、外壁亀裂修繕を予定している。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①特定の職員及び業者のみが出入りする施設ではあるが、安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る ③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項
特記事項なし

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	渡刈クリーンセンター

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	渡刈町	延床面積	22,411.16 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
工場棟	RC 造	2007	20,533.00	地上 7 階 地下 2 階	
管理棟	RC 造	2007	1,191.00	4 階	
ごみ搬入監視棟	S 造	2007	44.20	1 階	
渡り廊下	S 造	2007	67.00	1 階	
スラグヤード棟	S 造	2007	478.00	1 階	
計量棟	S 造	2007	49.00	1 階	
計量棟４	S 造	2007	48.96	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築後１４年が経過しており、概ね健全な状態を維持しているが、一部で雨漏りが発生している。 空調設備や照明設備の陳腐化・老朽化は否めず、将来的には省エネ性能の高い設備に更新が必要である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①利用者の安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る ③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。 ☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

	各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	大規模改修等の機会により高効率な空調への更新を行い、ランニングコストの縮減を図る。 また、将来的には LED 照明に更新を行い、さらなる省エネを図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	
使いながらの対策時には、利用者への負担を最大限配慮する必要がある。	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	緑のリサイクルセンター

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	枝下町	延床面積	5,199.41 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理棟	S 造	2010	420.25	1 階	
受入前処理・発酵ヤード棟	S 造	2010	3,805.03	1 階	
ストックヤード棟	S 造	2010	713.79	1 階	
脱臭棟	RC＋S 造	2010	31.65	1 階	
計量棟	RC＋S 造	2010	23.80	1 階	
消火ポンプ室	S 造	2010	6.10	1 階	
倉庫棟	S 造	2010	198.79	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築後１１年が経過しているが、概ね健全な状態を維持している。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①利用者の安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る ③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	
特記事項なし	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

5	施設名	藤岡プラント

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	下川口町	延床面積	5,806.29 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
工場棟	RC 造	1979	2,683.60	地上 6 階 地下 1 階	
管理棟	RC 造	1979	572.92	3 階	
汚水処理棟	S 造	1979	52.43	1 階	
ろ過通水ポンプ室	RC 造	1979	6.69	1 階	
集水槽ポンプ室	CB 造	1979	12.53	1 階	
便所	CB 造	1983	2.20	1 階	
倉庫	LWS 造	1985	30.80	1 階	
中間ポンプ室	CB 造	1992	18.87	1 階	
工場棟	RC 造	1994	2,366.25	地上 6 階 地下 1 階	
作業棟	RC 造	1994	60.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
工場棟（１９７９年築）及び管理棟は築後４２年が経過しており、外壁塗装や屋上防水が劣化し、チョーキングや雨漏りが随所で発生している。工場棟（１９９４年築）等も築後２７年が経過しており、老朽化が著しい。空調設備や照明設備、衛生設備の一部は故障の度に更新しているが、施設全体で見た場合陳腐化・老朽化は否めず、将来的には省エネ性能の高い設備に更新が必要である。 ２０２１～２０２２年度で外壁塗装及び屋上防水工事を実施予定である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針

①利用者の安全・安心を確保
②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る
③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る

（２）取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。

□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

大規模改修等の機会により高効率な空調への更新を行い、ランニングコストの縮減を図る。

また、将来的には LED 照明に更新を行い、さらなる省エネを図る。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

豊田加茂広域市町村圏事務組合からの移管施設であるため関係図面が散逸しており、図面等が見当たらないため、修繕及び機能向上工事施工に支障をきたすことが多い。

また、建築年次が古く、山がちな地形から有効な敷地が確保できないため、バリアフリー化、機能向上にも制約が多く、可能な範囲での対応とせざるを得ない。

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

6	施設名	プラスチック製容器包装資源化施設

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	渡刈町	延床面積	1,501.11 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
資源化施設	S 造	2007	1,491.11	2 階	
屋外便所	S 造	2007	10.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築後１４年が経過しており、一部に雨漏りが発生しているが、概ね健全な状態を維持している。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①利用者の安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る ③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
大規模改修等の機会により高効率な空調への更新を行い、ランニングコストの縮減を図る。 また、将来的には LED 照明に更新を行い、さらなる省エネを図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

特記事項なし

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

7	施設名	砂川衛生プラント

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	みよし市三好丘	延床面積	5,064.70 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
処理棟	RC 造	1995	4,941.07	地上 2 階 地下 1 階	
予備貯留槽	S 造	1986	104.19	地上 1 階 地下 1 階	
倉庫	S 造	1977	19.44	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築後２６年が経過しているが、概ね健全な状態を維持している。 ２０２１年度に空調設備の更新を実施する予定である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①利用者の安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る ③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
将来的には LED 照明に更新を行い、省エネを図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

特記事項なし

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

8	施設名	グリーン・クリーンふじの丘

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	藤岡飯野町	延床面積	7,237.01 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
浸出水処理施設	RC 造	2006	4,003.01	地上 2 階 地下 1 階	
計量棟	RC 造	2006	110.99	1 階	
乾燥塩保管庫	S 造	2006	195.00	1 階	
車庫棟	S 造	2006	200.00	1 階	
監査廊１，２	S 造	2006	57.33	1 階	
ダンピング検査棟	S 造	2006	667.14	1 階	
廃棄物再生利用施設	S 造	2006	1,849.54	地上 2 階 地下 1 階	
ストックヤード	RC 造	2006	154.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築後１５年が経過しており、概ね健全な状態を維持している。 空調設備や照明設備の陳腐化・老朽化は否めず、将来的には省エネ性能の高い設備に更新が必要である。 ２０２０年度に管理棟屋上ベランダの手すり基礎修繕を実施した。２０２１年度にはポンプ室壁及び外壁の剥離修繕、外壁全面クラック補修（全面塗装）、SOG（過電流ロック型高圧気中開閉器）取替を実施予定。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①利用者の安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る ③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
大規模改修等の機会により高効率な空調への更新を行い、ランニングコストの縮減を図る。 また、将来的には LED 照明に更新を行い、さらなる省エネを図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項
使いながらの対策時には、利用者への負担を最大限配慮する必要がある。

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

9	施設名	ごみ収集車車庫

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	渡刈町	延床面積	2,957.92 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
洗車場付車庫（大型車用 A）	S 造	2002	1,756.56	1 階	
整備室付車庫（大型車用 B）	S 造	2002	469.56	1 階	
車庫（大型車用 C）	S 造	2002	486.76	1 階	
車庫（小型車用 A）	S 造	2002	201.96	1 階	
油貯蔵庫	CB 造	2002	12.00	1 階	
倉庫	S 造	2016	31.08	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築後１９年が経過しており、概ね健全な状態を維持しているが、塗装に劣化が見られる。２０１８年に鉄柱の塗装は実施したが、屋根の塗装は実施していない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①利用者の安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る ③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	将来的には LED 照明に更新を行い、さらなる省エネを図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	
特記事項なし	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

10	施設名	逢妻衛生プラント

1　施設の概要　（2021 年 3 月 31 日時点）

所在地	前林町	延床面積	7,363.42 ㎡ （持分割合 777/1000）

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
肥料倉庫	S 造	2005	80.00	1 階	注
管理棟	RC 造	1973	620.00	2 階	注
排水処理棟	RC 造	1983	75.96	2 階	注
機械棟	RC 造	1983	368.00	2 階	注
処理棟	RC 造	1983	1,349.83	地上 1 階 地下 1 階	注
新処理棟	RC 造	1995	4,093.80	地上 2 階 地下 1 階	注
乾燥汚泥袋詰作業所	S 造	1990	59.79	1 階	注
旧管理棟	CB 造	1965	78.70	1 階	注
車庫	S 造	1965	108.00	1 階	注
汚泥処理棟	RC 造	1983	529.34	2 階	注

注：持分割合 777/1000

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
築後５０年近く経過している建築物もあるが、概ね健全な状態を維持している。 空調設備や照明設備の陳腐化・老朽化は否めず、将来的には省エネ性能の高い設備に更新が必要である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①利用者の安全・安心を確保 ②必要な対策を適切な時期に効率的・効果的に実施し、トータルコストの縮減・平準化を図る

③予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の結果を踏まえ、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
大規模改修等の機会により高効率な空調への更新を行い、ランニングコストの縮減を図る。 また、将来的には LED 照明に更新を行い、さらなる省エネを図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項
使いながらの対策時には、利用者への負担を最大限配慮する必要がある。

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。